

2025年度秋学期派遣交換留学修了届
 ※HP上で公開しますので、個人情報 は記入しないようにしてください。

私は海外協定校に派遣され、この度交換留学を修了しましたので、下記のとおりご報告いたします。

■基本情報

留学先国	オーストラリア
留学先大学	グリフィス大学
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年歴(留学先大学の年間スケジュール)	※記入例 1学期:9月中旬～1月中旬、2学期:1月下旬～6月中旬
学生数	約45,000人
創立年	1971
留学先での所属学部	Griffith English Language Institute
留学時の学年	2年生
留学開始・終了時期	2025年 9月 1日～ 2025年 12月 22日 (3カ月半)

■留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか？
<p>大学はクイーンズランド州のブリスベンに位置し、都会の便利さと自然が融合した町でした。中心部にはビル群が立ち並び、川沿いには緑豊かな公園や人工ビーチがあり、アウトドアが盛んでした。文化施設や美術館が多く、国際イベントも盛んでした。</p>
② 留学中はどこに住んでいましたか？
<p>a. 大学寮 (): 何人部屋でしたか(人)</p> <p>b. アパート (O): 何人部屋でしたか(6 人)</p> <p>c. ホームステイ(): 何人部屋でしたか(人)</p> <p>d. その他 (): 具体的に:</p>
③ 住環境はどうでしたか？
<p>UniLodgeという学生アパートに滞在していました。電車とバス両方の駅が隣にあり、セキュリティ対策が十分にされていました。私は6ベッドルームのプランを選んだので、個人部屋ではありますがキッチンとバスルームは共用でした。特に問題は起こらず、営業時間内はフロントにスタッフが常駐しており、夜間は電話することでスタッフが呼び出せる状態で、相談窓口もありました。アパート全体での共用スペースにはランドリーや勉強、ジム、シネマ、ゲームルームがあり、フードやドリンク、スナックの自動販売機もありました。ほぼ毎日イベ</p>

<p>ントがあり、毎週火曜日と金曜日はフード&ゲーム、週末には日帰り旅がありました。</p>
<p>④ 現地のインターネット環境はどうでしたか？</p>
<p>インターネット環境は学校とアパート両方とも良好でした。学校は初日のオリエンテーションでWi-Fiの接続をする時間があり、アパートではチェックイン時に丁寧にWi-Fiの接続方法についての説明を受けました。</p>
<p>⑤ 食事はどうしましたか？</p>
<p>a. 大学・寮のミールプラン() b. 主に外食 () c. 自炊と外食が半々程度(O) d. その他 ()具体的に:</p>
<p>⑥ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか？</p>
<p>他の留学生とは語学学校で知り合いました。日本人が大半でしたが、台湾やサウジアラビア、メキシコなど他の国籍の留学生と授業内のディスカッションやグループワークを通じて交流を深めることができました。また、現地の学生とはアパートのイベントで知り合うことができました。週末に出かけたり共用スペースのキッチンで一緒に料理をしたりして交流を深めました。現地の学生とはアパートで交流を深めることができました。フラットメイトと週末に出かけたり、</p>
<p>⑦ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか？</p>
<p>放課後は友達とショッピングやアパートのイベントに参加に参加したり自炊の作り置きをしたりしていました。週末にはゴールドコーストやサンシャインコーストなど少し遠出をしていました。友達とプランを立てていくときもあれば学校やアパートのイベントとして行くこともありました。</p>
<p>⑧ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。</p>
<p>健康管理の面では、なるべく毎日のルーティンに沿って生活習慣を乱さないようにしたり、自炊で栄養が偏らないように気を付けていました。危機管理の面では、外務省からの連絡をよく読んだり遠出するときには安全性を調べてから行くようにしたりしていました。</p>
<p>⑨ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般(衣食住)に関するアドバイスがあればお願いします。</p>
<p>留学中の生活を通して、文化や宗教の違いが日常生活に深く影響していることを実感しました。食生活では、ハラールやベジタリアンなど、宗教や価値観によって食べられないものがある人が多く、クラスメイト同士でも食事の選択が大きく異なっていました。また、祈りの時間を大切にする学生もおり、授業の合間に祈祷室を利用する姿を見て、宗教が生活の一部として自然に存在していることを知りました。</p> <p>住生活では、シェアハウスでの生活習慣が国によって大きく違い、掃除の頻度やキッチンの使い方など、家庭文化の差がそのまま現れていました。衣生活では、気候や文化の違いから、季節の感じ方や服装の基準が日本と大きく異なり、同じ季節でも人によって着るものが大きく違うことが印象的でした。</p>
<p>⑩ どのような保険に加入しましたか。()に○をつけてください。</p>
<p>a. 留学先大学が指定した保険 () b. 個人の保険のみ () c. 大学指定の保険と個人保険の両方 (O)</p>
<p>⑪ 予防接種は必要でしたか。()に○をつけてください。</p>

<p>a. はい () 具体的に: b. いいえ (○)</p>
<p>⑫ 現地で病院に掛かったことはありましたか?</p> <p>ありませんでした。</p>
<p>⑬ 大学内の医務室・診療所(附属病院など)で医療サービスを受けることは可能でしたか?</p> <p>可能でした。</p>
<p>⑭ 学内外で問題があった時には誰に相談しましたか? 留学先に相談窓口はありましたか?</p> <p>語学学校と学生アパートの両方に相談窓口がありました。</p>
<p>⑮ 現地での危険情報をどの様に収集し、どのような防犯対策をしましたか?</p> <p>主に外務省からのお知らせから情報を得ていました。宗教関連の事件が多かったので行先の教会を調べるなど関連する場所を避けるようにしていました。</p>

■留学先での学習について

<p>① 留学先で履修した科目・時間・授業内容について教えてください。 ※ 詳細は別紙「学習・研究活動レポート」に記載をお願いします</p>
<p>科目: Direct Entry Program 時間: 平日 8:30~13:00 授業内容: カレッジ入学希望者に合わせたプログラムでIELTSに対応するような内容でした。</p>
<p>② 授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。</p> <p>語学学校ではレベルごとでプログラムがあり、自身で履修を組むことがないので特にありません。</p>
<p>③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。</p> <p>授業で最も苦勞した点は、他国の留学生のアクセントに慣れることでした。特に、発音や話すスピードが国によって大きく異なり、最初の頃は聞き取れずに内容を理解できない場面が多くありました。しかし、積極的に会話に参加し続けたことで、徐々にさまざまな英語のアクセントに対応できるようになりました。この経験は、実践的なリスニング力の向上につながったと感じています。一方で、努力が成果につながった点として、プログラムのレベルを上げることができたことが挙げられます。毎日の復習や課題への取り組みを継続し、講師のフィードバックをもとに改善を重ねた結果、より高いレベルのクラスに進級することができました。</p>

■留学前後の外部語学試験の成績・資格試験の実績について

① 外部語学試験	
<p>[留学前]</p> <p>TOEIC 655</p>	<p>[留学後]</p> <p>TOEIC</p>
② 資格試験	

授業形態	対面	
授業時間数		
担当教授	Julie 月水金 Michelle 火木	
授業内容	トピックに合わせた記事を読み、語彙文法確認、読解、リスニングなどを行い、毎週アカデミックライティングの小テストがありました。	
試験・課題など	基本的に課題が毎日ありました。課題の内容はIndepend learning や note内の語彙確認でした。 また、最終週には試験がありリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングがありました。	
学習成果(自由記入)		
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):	
Direct Entry Program Term 9 DEP5	直接入学プログラム	
科目設置学部・研究科		
履修期間	5週間	
単位数		
本学での単位認定状況		
授業形態	対面	
授業時間数	4時間 × 5日 / 週 × 5週間	
担当教授	Chris 月水金 Rowena 火木	
授業内容	ピックに合わせた記事を読み、語彙文法確認、読解、リスニングなどを行い、毎週アカデミックライティングの小テストがありました。	
試験・課題など	基本的に課題が毎日ありました。課題の内容はIndepend learning や note内の語彙確認でした。 また、最終週には試験がありリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングがありました。	
学習成果(自由記入)	最終週の試験でコースのレベルを満たしたので、次のタームで1つ上のレベルにステップアップすることができました。	

■学習・研究活動レポート

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):	
Direct Entry Program Term10 DEP6	直接入学プログラム	
科目設置学部・研究科		
履修期間	5週間	
単位数		

本学での単位認定状況	
授業形態	対面
授業時間数	4時間 × 5日 / 週 × 5週間
担当教授	Chris 月水金 Jo 火木
授業内容	ピックに合わせた記事を読み、語彙文法確認、読解、リスニングなどを行い、毎週アカデミックライティングの小テストがありました。
試験・課題など	基本的に毎日課題がありました。課題の内容はIndependent learning や note内の語彙確認がありました。 成績に入るタスクが3つあり、内二つは記事の要約でもう一つは記事を読み内容についての記述問題でした。 また試験はUse of English (文法、語彙問題)とリーディング、ライティング、タスク1・2の記事に関する議論(先生と)がありました。
学習成果(自由記入)	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	
授業形態	
授業時間数	
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
学習成果(自由記入)	

■留学費用について

	現地通貨:AUD	円換算: =	
		107	
留学費用項目	現地通貨	日本円(換算)	その他(備考欄)
授業料	5,580	578,502	
滞在費	5,742	616,922	
食費	2,978	320,000	

図書費	0	0	
学用品費	0	0	
教養娯楽費	314.27	33,760	学校のアクティビティ
被服費			
医療費	0	0	
保険費	749.44	78,820	
渡航旅費(航空運賃・空港税など)	1,972.97	207,500	
雑費			
その他	2,202.29	236,575	ビザ申請費
その他			
その他			
合計	19,538.97	2,085,279	

以上

本学学生の個人的な質問等に回答していただける方、また卒業後のフォローアップ調査に協力いただける方は、下にお名前と連絡先をご記入ください。ご記入いただいた個人情報は、本目的以外には利用致しません。

(了)